

生活協同組合パルシステム東京 震災復興支援基金
《愛称：パル^{ミライ}未来花基金》

【別紙】

申請・報告書式記入例

—2020 年度版—



生活協同組合パルシステム東京
復興支援委員会

◆ 目次 ◆

1. 申請に必要な書式

	書式名	ページ
1	様式A-1「申請書」	3～5 ページ
2	様式A-2「グループ概要」	6 ページ
3	様式B-1「助成金使途申請書／使途報告書」	7～8 ページ

その他、グループの活動が判る資料などがありましたら、合わせてご提出をお願いします。

2. 報告に必要な書式

	書式名	ページ
1	様式B-1「助成金使途申請書／使途報告書」	10～11 ページ
2	様式C-1「活動報告書」	12～13 ページ
3	様式C-2「組合員への助成活動レポート」	14 ページ
4	様式D-1「領収書添付シート」	15 ページ
5	様式D-2「交通費精算書 ※領収書の不要な近距離交通費用（条件有）」	16 ページ

その他、グループの活動が判る資料などがありましたら添付下さい。

3. 注意事項（領収書の取り方、使途変更について）

助成金を使って活動を行う場合、活動終了後の報告時に必ず領収書が必要になります。以下の注意事項を確認の上、助成金をご活用ください。

	書式名	ページ
1	領収書の取り方の注意点	17 ページ
2	レシート状の領収書について	18 ページ
3	使途（経費項目）変更について	18 ページ

1. 申請に必要な書式

助成金を申請する際には、以下の書式に必要事項をご記入の上、ご提出ください。

	書式名
1	様式A－1「申請書」
2	様式A－2「グループ概要」
3	様式B－1「助成金使途申請書／使途報告書」

その他、グループの活動が判る資料などがありましたら、合わせてご提出をお願いします。

様式 A-1 申請書（記入例）

※3ページの「補足事項」を参照の上、ご記入ください。

事務局 使用覧	受付番号	受付日	受領・確認者
		/	㊟

申請日	○年2月1日
① グループ名	パルボラチーム
②代表組合員名	生協 パル子
③グループ人数	5人（内パルシステム東京組合員 3人）
④企画名称	福島の子どもたちの保養企画
⑤支援対象者・エリア／企画開催地	支援対象エリア：福島県 企画開催地：東京都稲城市
⑥実施予定期間	○年11月21日（土）～ ○年11月23日（月）
⑦助成希望金額（A）	265,740 円
⑧申請した企画の費用総額	374,740 円

⑨申請に至る背景・目的（どうしてこの活動をはじめたのか・何を目的とするか）

※これまでの活動実績や活動の背景などが分かる資料があれば添付をお願いいたします。

東京で開催されていた〇〇会に参加した折、福島から参加した方とお話を聞く機会があり、今もなお放射線に気を遣う日々が続いていること、そしてそれが大きなストレスとなっていることを知りました。また、子どもたちをのびのびと遊ばせることが出来ず、どこかに連れて行ってあげたいが、生活するだけでも困難な状況にあると聞きました。そこで友人らと自分たちで何かできないかと話し合い、今回の保養企画を考えました。

⑩企画の主な内容（具体的にどのような取り組みを行うのか）

福島では、東京電力福島第一原発事故の影響により、山や川などの自然の中で子どもたちを遊ばせることに不安を感じるという親子が今もいらっしゃいます。

そこで、のびのびと自然と触れ合う機会を提供し、子どもたちにリフレッシュしてもらいたいと考え、保養企画を計画しました。

⑪具体的な内容とスケジュール ※「実施予定内容」には誰がどこで何をどのように実施するかを記載する

開催予定月	実施予定項目・内容	企画・会議等の参加予定人数
○年9月中旬 10月中旬～ 10月下旬 11月21日 11月22日 11月23日	企画詳細を決定する（宿泊場所の手配・調査など） HPや福島県の現地の知人を通して参加者の募集を行なう。 企画の細かな準備（手配や備品の買い揃えなど） 福島から子どもたちの受け入れ（福島～東京間高速バス）、○○自然公園でレクリエーション（宝探しなど）を行う。東京に宿泊 ○○キャンプ場にて、講師による生き物観察、屋外バーベキューを行う。 東京に宿泊。 ○○公園アスレチックで外遊び。終了後、帰路（東京～福島間高速バス）	大人5名、子ども5名を予定

⑫期待される成果（どのような成果が得られるか、被災者の方々への貢献性や社会への影響力など）※200～400字程度

① 福島親子のストレス軽減が期待できること。

- ・福島には、自然の中で遊ぶことを不安と感じる子どもたちがいます。本企画の中で自然体験をすることで、心身のバランスを安定させ健全な発達の促しにつながります。
- ・同じ境遇で不安を抱えている保護者同士が安心して語れる場を提供できます。参加者からは、放射能の影響や不安を素直に口にすることができ、想いを共有できるという感想をいただいています。

② 福島の実状についての理解と関心が高まること。

- ・保養活動は今年で○年目になり、福島親子は延べ○組、東京のボランティアは延べ○名が参加しました。ボランティアからは「福島に想いを寄せる気持ちを忘れずに支援を続けたい」などの感想が多くあります。

③ 保養活動の認知が広がること。

- ・保養活動の認知度は低いですが、継続することでイベントの参加者からボランティアを志願されるなど、徐々に理解と関心が高まっていることを感じます。

⑬グループの活動をより継続・発展するための工夫や心がけていること

今回の企画を実施するために、○○会で出会った福島の方々にもご協力をいただいたことから、現地とのネットワークができました。このネットワークを活かし、来年度以降も、引き続き、保養企画を実施していきたいと考えています。

また、グループ内で、福島の実状を知るための勉強会や、会計処理などをスムーズにするための研修会を実施し、グループメンバーのステップアップに心がけています。

⑭今回の申請活動に対する「パル未来花基金」以外の助成金の有無

「虹とハト募金」から5万円の助成を受ける予定です。

⑮希望申請額から減額になった場合の対策

助成金がいただけない場合、あるいは、減額等になった場合については、参加費の調整やグループメンバーや知人に仲間になってもらいカンパを募る予定です。ただ、規模縮小して実施することになるかもしれません。（イベントを少なくする、日帰りにするなど）

記入欄 番号	補足事項
①	「グループ名」は、必ず決めてください。「領収書」には必ず「グループ名」の記載が必要となります。※「会計報告書」で、グループ名の記載がない領収書は無効になる場合があります。
②	「代表組合員名」は、組合員登録されている本人及び、同世帯の方までとなります。
③	「グループ人数」は、代表組合員も含めた人数です。
④	「企画名称」は、支援活動の概要が分かる名称を記載してください。
⑤	「支援対象者・エリア」は、支援活動の対象となる地域を可能な限り具体的に記入してください。 「企画開催地」は、イベントや講演会等、助成金を利用して実施する企画を開催する地域です。
⑦	「実施予定期間」は、申請を行う年の4月1日～翌年3月31日までとなります。期間中に複数回実施する場合は、「⑫具体的なスケジュール」に記載してください。
⑧	「助成希望金額」は、最大 30 万円です。様式 B-1『助成使途申請書 / 使途報告書』の（A）欄の金額を記入してください。
⑨	「申請した企画の費用総額」は、⑧の申請金額を含めた、企画に関する経費の「総額」を記載してください。

様式 A-2 グループ概要 (記入例)

【グループ概要】

グループ名	ぱるラボチーム
代表組員名	生協 パル子
代表組員番号	10000001
代表組員連絡先 (住所)	〒169-8526 東京都新宿区大久保 2-2-6 ラクアス東新宿 7 階
代表組員連絡先 (電話)	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 / 携帯電話: 090-△△△△-△△△△
代表組員連絡先 (メール)	paltokyo-seisaku@pal.or.jp
連絡が取りやすい時間帯	月～金の 10 時～15 時頃まで

【グループ名簿】

		お名前	ご住所	日中連絡先	組員の場合は 組員番号
2	副代表者名	東京 花子	東京都××市××××	090-××××- ××××	20000002
3	会計者名	根釧 太郎	東京都□□区□□□□	090-□□□□- □□□□	30000003
4	メンバー名	八王子 パル夫	東京都◎◎区◎◎◎◎	090-◎◎◎◎- ◎◎◎◎	
5	メンバー名	世田谷 たまこ	東京都◆◆区◆◆◆◆	090-◆◆◆◆- ◆◆◆◆	
6	メンバー名				
7	メンバー名				
8	メンバー名				
9	メンバー名				
10	メンバー名				
11	メンバー名				
12	メンバー名				

様式B-1 助成金使途申請書 / 使途報告書

黄色セルは自動計算です。

団体名: **ぱるラボチーム**申請時は、ピンク色の欄にご記入ください。
(青色の欄は、報告の際に使用します。)

■申請・報告事項

※申請時はピンク色の欄(申請の内訳)に、報告時は水色の欄(報告の内訳)にご記入ください。

※助成金を使用する経費のみご記入ください。(自己資金を使用する経費は記入不要)

経費項目 (表1「経費項目」から選んで記入)	申請の内訳		報告の内訳 (助成金の使用実績)		
	金額 (使用する予定の金額)	内訳・詳細	金額 (実際に支払った金額)	内訳・詳細	様式D-1 領収書番号
講師料	5,000	キャンプ場の生き物観察講師料 講師1名×5000円			
旅費交通費	62,000	高速バス代(往復) 片道: 福島～東京: 3,950円×大人4名、 1,900円×子ども8名			
宿泊費	135,000	バンガロー宿泊代 4500円×15名×2泊			
交流費	24,000	食費 800円×15名×2泊			
消耗品費	4,000	バーベキューで使用する炭、紙皿、紙 カップ等			
使用料及び 賃借料	3,500	アスレチック料金 大人300円×9名+子ども100円×8名			
旅費交通費	32,240	電車(往復)、 片道: 東京駅～奥多摩駅、大人1,240円× 9名+子ども620円×8名			
合計	[A] 265,740	様式A-1「申請書」の『⑦助 成希望金額』と同じ額	[C] 0		

「経費項目」欄には、【表1:経費項目】から、あては
まる項目をご記入ください。こちらの水色の欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。「内訳・詳細」欄には、使用する経費の単価、人数、
回数などの内訳が分かるようご記入ください。

【記入例】

・講師料→ 金額×人数

・旅費交通費→ 交通手段(片道・往復)、経路、

金額×人数×回数

・宿泊費→ 金額×人数×泊数

助成金の申請額【A】	265,740
助成額【B】	
助成金の使用額(実績)【C】	
返金(【B】-【C】)	

こちらの欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。

■収入に関する申告事項

※申請する企画に関わる「パル未来花基金」以外の収入についてご申告ください。

※「他の助成金」「自己拠出金」「参加費」「募金・寄付」がある場合には金額を、ない場合には「0」をご記入ください。

項目	予算の内訳		実績の内訳	
	金額	詳細	金額	詳細
パル未来花基金以 外の助成金	50,000	虹とハト募金		
自己拠出金	25,000	グループメンバーカンパ 5000円×5名		
参加費	24,000	参加費(福島からの参加者)3000円× 4名+1500円×8名		
募金・寄付	10,000	知人等からのカンパ金		
合計	109,000		0	

パル未来花基金以外の「助成金」「自己拠出金」「参加
費」「募金・寄付」がある場合には、金額をご記入ください。
ない場合には「0」をご記入ください。こちらの水色の欄は、報告時に使用。
申請時は使用しません。

【表1:経費項目】

「経費項目」欄に記入する項目	講師料	講師料(外部講師を依頼する場合で30,000円以上の講師料が発生する場合は事務局までご相談ください) ※グループ内の講師料については対象外とします。 ※交通費別
	旅費交通費	・公共交通機関、タクシーの利用代金 ・レンタカー代金、ガソリン代、有料道路料金、駐車場代 ※グループの方が被災現地に行く場合の交通費は、原則として東京都内からとします。
	宿泊費	宿泊費 ※1泊6,000円／1人を上限とします。
	使用料及び賃借料	会場などの施設使用料
	水道光熱費	カフェや炊き出しなどに使用する水道代やガス代など
	消耗品費	紙、インク、文具紙コップ、紙皿など終了後に私的な利用を目的としないものの購入費 ※企画後、私的財産となるものは対象外。
	通信・運搬費	切手、電話代、宅配便代など ※通信費は支援に必要な経費として明確に解る範囲のもので、領収書が提出できるもののみを対象とします。
	交流費	サロンなど、避難者との交流企画にともなう食事・お茶・お菓子代
	その他	項目がない経費については、震災復興支援基金担当までご相談下さい。
「収入の項目」の説明	パル未来花基金以外の助成金	「パル未来花基金」以外の助成金
	自己拠出金	グループのメンバーからの会費やカンパ、寄付など
	募金・寄付	グループのメンバー外から寄せられた募金や寄付、カンパなど
	参加費	企画参加者から徴収する参加費や会費、入場料など

2. 申請に必要な書式

助成を受けた活動を報告する際には、以下の書式に必要事項をご記入の上、ご提出ください。

	書式名
1	様式B－1「助成金使途申請書／使途報告書」
2	様式C－1「活動報告書」
3	様式C－2「組合員への助成活動レポート」
4	様式D－1「領収書添付シート」
5	様式D－2「交通費精算書 ※領収書の不要な近距離交通費用（条件有）」

その他、グループの活動が判る資料などがありましたら添付下さい。

様式B-1 助成金使途申請書 / 使途報告書

団体名: **ぱるうボチーム**

報告時は、水色の欄にご記入ください。
(ピンク色の欄は、申請時に記載した内容をそのまま使います。)

『領収書添付シート(様式D-1)』の領収書番号を記入してください。経費項目ごとにまとめて記入をお願いします。

■申請・報告事項

※申請時は「申請の内訳」に、報告時は「報告の内訳」にご記入ください。

※助成金を使用用途のみご記入ください。(自己資金を使用する経費は記入不要)

経費項目 (表1「経費項目」から選んで記入)	申請の内訳		報告の内訳(助成金の使用実績)		
	金額 (使用する予定の金額)	内訳・詳細	金額 (実際に支払った金額)	内訳・詳細	様式D-1 領収書番号
講師料	5,000	キャンプ場の生き物観察講師料 講師1名×5000円	5,000	キャンプ場の生き物観察講師料	1
旅費交通費	62,000	高速バス代(往復) 片道:福島～東京、3,950円×大人4名、 1,900円×子ども8名	58,200	高速バス代(往復)・福島～東京、3,950 円×大人4名、1,900円×子ども7名	2・3
宿泊費	135,000	バンガロー宿泊代 4500円×15名×2泊	112,000	バンガロー宿泊代 4000円×14名×2泊	4
交流費			20,000	朝食、昼食、夕食の食材費等	5
消耗品費	4,000	バーベキューで使用する炭、紙皿、紙 カップ等	5,600	バーベキューで使用する炭、紙皿、紙 カップ等	6
使用料及び 賃借料	3,500	アスレチック料金 大人300円×9名+子ども100円×8名	12,500	アスレチック料金 大人1000×9名+子ども500円×7名	7
旅費交通費	32,240	電車(往復) 片道:東京駅～奥多摩駅、大人1,240円× 9名+子ども620×8名	31,000	電車(往復)、東京駅～奥多摩駅、大人 1,240円×9名+子ども620×7名	9
水道光熱費			1,200	キャンプ場での水道とガスの使用量 (使途変更申請済み)	10
合計	[A] 265,740		[C] 245,500		

申請時の記入用紙をそのまま使用します。
(こちらの欄は、申請時の記入内容を変更せず、右の水色の欄に、
新たに記入してください。)

申請時に設定していない使途(経費項目)で助成金
を使用する事由が発生した場合は、復興支援基金
担当に報告の上、受理されれば、記入。

助成金の申請額【A】	265,740
助成額【B】	250,000
助成金の使用額(実績)【C】	245,500
返金(【B】-【C】)	4,500

審査後に通知された
実際の助成額を記入。

■収入に関する申告事項

※申請する企画に関わる「パル未来花基金」以外の収入についてご申告ください。

※「他の助成金」「自己拠出金」「参加費」「募金・寄付」がある場合には金額を、ない場合には「0」をご記入ください。

項目	予算の内訳		実績の内訳	
	金額	詳細	金額	詳細
パル未来花基金以外 の助成金	50,000	虹とハト募金	50,000	虹とハト募金
自己 参加			25,000	グループメンバーカンパ 5000円×5名
			22,500	参加費(福島からの参加者)3000円× 4名+1500円×7名
募金・寄付	10,000	知人等からのカンパ金	10,000	知人等からのカンパ金
合計	109,000		107,500	

申請時の記入用紙をそのまま使用します。(こ
ちらの欄は、申請時の記入内容のまま変更せず、右の水色の欄に
新たに記入してください。)

【表1:経費項目】

「経費項目」欄に記入する項目	講師料	講師料(外部講師を依頼する場合で30,000円以上の講師料が発生する場合は事務局までご相談ください) ※グループ内の講師料については対象外とします。 ※交通費別
	旅費交通費	・公共交通機関、タクシーの利用代金 ・レンタカー代金、ガソリン代、有料道路料金、駐車場代 ※グループの方が被災現地に行く場合の交通費は、原則として東京都内からとします。
	宿泊費	宿泊費 ※1泊6,000円／1人を上限とします。
	使用料及び賃借料	会場などの施設使用料
	水道光熱費	カフェや炊き出しなどに使用する水道代やガス代など
	消耗品費	紙、インク、文具紙コップ、紙皿など終了後に私的な利用を目的としないものの購入費 ※企画後、私的財産となるものは対象外。
	通信・運搬費	切手、電話代、宅配便代など ※通信費は支援に必要な経費として明確に解る範囲のもので、領収書が提出できるもののみを対象とします。
	交流費	サロンなど、避難者との交流企画にともなう食事・お茶・お菓子代
	その他	項目がない経費については、震災復興支援基金担当までご相談下さい。
「収入の項目」の説明	パル未来花基金以外の助成金	「パル未来花基金」以外の助成金
	自己拠出金	グループのメンバーからの会費やカンパ、寄付など
	募金・寄付	グループのメンバー外から寄せられた募金や寄付、カンパなど
	参加費	企画参加者から徴収する参加費や会費、入場料など

様式 C-1 活動報告書（記入例）

作成日：○年 3 月 20 日 / 記載者：生協 パル子	
企画名称	福島の子どものための保養企画
グループ名	パルボラチーム
助成額	250,000 円
実施期間	○年 11 月 21 日（土）～ ○年 11 月 23 日（月）

①実施内容報告（活動報告）

実施日	実施内容（どこで何を行ったのか？）	参加者数
○年 11 月 21 日（土）	《1 日目》 福島駅より高速バスで東京駅に到着した親子の出迎え 奥多摩パルシステムキャンプ場にてお弁当で昼食後、パルパル自然公園でレクリエーションを開催。夕食にカレーを作り食べる。片づけ後、花火をして終了。同キャンプ地内バンガローで宿泊。	福島親子大人 4 名 子ども 5 名 スタッフ 5 名
11 月 22 日（日）	《2 日目》 キャンプ地と近い○×フィールドにて講師による生き物観察を実施。 昼食後、昼寝と外遊び（自由時間）。夕方からバーベキュー準備、バーベキュー開催。	上記に加えて 講師 1 名
1 月 23 日（月）	1 日目と同じバンガローで宿泊。 《3 日目》 こぷりん公園アスレチックで外遊び。終了後、東京駅にお見送り。	

②助成活動の成果（自己評価と理由、参加者の感想や反応なども含む）

■被災者、参加者への貢献や影響

原発事故当時、避難地域に住んでいた親子が参加されました。現在は避難解除となりましたが、里山などで遊ぶことには神経を使うという事だったので、その点を心配しないで思いっきり遊んでもらえる点が非常に喜ばれました。ストレスの軽減につながったと思います。楽しかった、また来たいとの感想もいただきました。

ただ遊ぶだけではなく、講師がいる生き物観察ができたことも喜ばれました。

スタッフ側の参加者にとっても、現在の福島の様子などの話を聞くことができ、これからの支援について考えるきっかけをもらうことができました。

■新たな気づきや課題

親御さんからは1泊2日で隔月等であると良いと言われました。もう少し回数を多くして、工程を短くする企画もしてみたら良いかと思いました。

3日間、外遊びにしましたが、人数が増えれば室内でのレクリエーションを組み込むのも良いかと思いました。

今回は初めてということもあり、親子2組と少なめの参加者を予定したので募集は知人を通じて行い、HP等では募集を行なわなかったですが、人数を多くする企画を行うことを検討した場合は募集の方法もHPやSNSを活用した方法を試したいと思います。

③今後の展望

今後は参加者を増やす企画、または少人数で定期的に複数回行う企画もやりたいと思います。資金集めが非常に大変ですが、飲食店にチラシを置いてもらうなど理解を深めてもらえる活動をしていきたいと思います。

また、生き物について考えるなどできる企画ができたら良いかと感じました。

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	
支援対象者・エリア	
企画開催地	
企画名称	
実施期間	

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

活動の様子（写真など）

※本レポートに掲載された写真はパルシステム東京ホームページ等で公開させていただきます。予めご了承ください。

様式 D-1 領収書添付シート (記入例)

領収証 番号	領収証、又は根拠となる書類添付欄 1つの枠に1枚貼ってください。もしくはA4サイズの紙に重ならないように貼り、領収証に番号をふって下さい。
1	領 収 書 〇年 11 月 22 日 <u>パルボラチーム 様</u> ¥5,000— 但 講師料として 東京都新宿区大久保 2-2-6 新宿印刷 (株)  要注意！！ 手引きの「領収書の取り方の注意点」を必ずお読みください。 新宿印刷 金額が5万円を越える場合は、収入印紙が必要です。また、印紙には割印も必要です。

領収証 番号	領収証、又は根拠となる書類添付欄 1つの枠に1枚貼ってください。もしくはA4サイズの紙に重ならないように貼り、領収証に番号をふって下さい。												
5	領収証(のりづけ) 領収証書 いつもご利用いただきありがとうございます <u>パルボラチーム 様</u> 株式会社〇△マート 東京都新宿区大久保 2-2-6 〇年 11 月 20 日 AM10:00 <table style="width: 100%;"> <tr> <td>米</td> <td style="text-align: right;">¥ 5100</td> </tr> <tr> <td>豚肉</td> <td style="text-align: right;">¥ 3680</td> </tr> <tr> <td>じゃがいも×3</td> <td style="text-align: right;">¥ 680</td> </tr> </table> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>合計 7 点</td> <td style="text-align: right;">¥20000</td> </tr> <tr> <td>お預かり</td> <td style="text-align: right;">¥20000</td> </tr> <tr> <td>お釣</td> <td style="text-align: right;">¥ 0</td> </tr> </table> NO1234 新宿店：TEL (03) 0000-0000 担当：〇〇 ●●	米	¥ 5100	豚肉	¥ 3680	じゃがいも×3	¥ 680	合計 7 点	¥20000	お預かり	¥20000	お釣	¥ 0
米	¥ 5100												
豚肉	¥ 3680												
じゃがいも×3	¥ 680												
合計 7 点	¥20000												
お預かり	¥20000												
お釣	¥ 0												

様式D-2 交通費精算書 ※領収書の不要な近距離交通費用(条件有)

記入例 年 月 日

※この用紙で清算いただける領収書がなくても良い交通費は以下の通りです。

下記以外の交通費は領収書が必要です。必ずもらってください。

◆100km未満の近距離の鉄道(特急料金や指定席料金を含まない)・バス等の運賃、渡し船代のみの場合

グループ名	パルボラチーム			名前	生協 パル子		
日付	交通機関・会社名	利用区間		目的	金 額	片道or往復 ○をして下さい	
11/21	JR	東京	～ 奥多摩	東京駅からキャンプ場への移動の為 (大人9名×1240円)	¥11,160	・片道 ・往復	
11/21	JR	東京	～ 奥多摩	東京駅からキャンプ場への移動の為 (子ども7名×620円)	¥4,340	・片道 ・往復	
11/23	JR	奥多摩	～ 東京	キャンプ場から東京駅への移動の為 (大人9名×1240円)	¥11,160	・片道 ・往復	
11/23	JR	奥多摩	～ 東京	キャンプ場から東京駅への移動の為 (子ども7名×620円)	¥4,340	・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
			～			・片道 ・往復	
合 計					¥31,000		

日付ごと、交通機関ごとにご記入ください。

100キロメートルとは、東京駅を中心とすると、神奈川県、埼玉県、千葉県や群馬県・栃木県・茨城県の南側の地域くらいまでとなります。

3. 注意事項（領収書の取り方、使途変更について）

（1）領収書の取り方の注意点

- ①日付 : 記入はありますか？原則、対象期間内の日付です。
- ②宛名 : 宛名は必ず「グループ名」でもらってください。
※無記名、上様は不可
- ③但し書き : お品物代ではなく具体的な内容でお願いします。
- ④支払い者 : 発行する側の住所と氏名、捺印が必要です。
- ⑤印紙 : 金額が5万円を越える場合、印紙が必要です。印紙を貼ったら割印もお忘れなく。
- ⑥経費項目が異なる商品を一括で購入した場合は、経費項目ごとに領収書をもらうか、内容詳細がわかるレシート等も一緒にもらってください。
(例えば食品と紙コップを一緒にスーパーで購入する場合など)
- ⑦領収書原本については返却できませんので、予めご了承ください。
- ⑧グループ内部での領収書の発行受取は行わないようお願いします。
- ⑨領収書の発行できないもの（公共交通機関などを除く）は、原則助成対象外となります。領収書が発行されない取り引きは避けてください。(クレジット決済で領収書が発行できない等)

The diagram illustrates a receipt form with the following fields and callouts:

- ①日付**: Points to the date field, which contains "〇年7月10日".
- ②宛名は必ずグループ名**: Points to the recipient name field, which contains "パルボラチーム 様".
- ③具体的に何に使用したのか**: Points to the item description field, which contains "印刷代として".
- ④住所・氏名・印鑑**: Points to the issuer information field, which contains "東京都新宿区大久保2-2-6 新宿印刷 (株)". A red square stamp with "新宿印刷" is also shown.
- ⑤金額が5万を越える場合は収入印紙が必要です。また、印紙には割印も必要です**: Points to the amount field, which contains "¥ 55,000". A red circular stamp with "新宿" is also shown.

(2) レシート状の領収書について

『領収証書』という記載があるものは、支払いの証明として使用できます。

✕ 使用できません

○△マート
新宿店：TEL03-0000-0000
担当者： ●● ○○

いつもご利用ありがとうございます。
○年 7 月 10 日 AM10:00 No00123

A 4 用紙	¥4,320
○×インク	¥ 560
模造紙	¥2,980
合計 3点	¥7,830
お預かり	¥10,000
お釣	¥2,170


12345678-1

○ 使用できます

領収証書

いつもご利用いただきありがとうございます

○○●○ 様

株式会社○△マート
東京都新宿区大久保 2-2-6
○年 7 月 10 日 AM10:00

A 4 用紙	¥4320
○×インク	¥560
模造紙	¥2980
合計 3点	¥7830
お預かり	¥10000
お釣	¥2170

NO1234
新宿店：TEL (03) 0000-0000
担当：○○ ●●

宛名の記入欄がある場合は、必ず「グループ名」でもらってください。

5万以上は印紙が必要です。

(3) 使途（経費項目）変更について

申請時に設定していない使途（経費項目）で助成金を使用する事由が発生した場合は、使用する前に震災復興支援基金担当へご連絡下さい。

以上